

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	倉敷芸術科学大学
設置者名	学校法人加計学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
芸術学部	メディア映像学科	夜・通信		0	12	20	13	
	デザイン芸術学科	夜・通信			12	20	13	
生命科学部	生命科学科	夜・通信	8	0	10	18	13	
	健康科学科	夜・通信			12	20	13	
	動物生命科学科	夜・通信			9	17	13	
	生命医科学科	夜・通信			10	18	13	
危機管理学部	危機管理学科	夜・通信		0	10	18	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表をHPで公表している。  <a href="https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/2022/04/jitsumu2022.pdf">https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/2022/04/jitsumu2022.pdf</a></p> <p>また、次の要領で「実務経験のある教員等による授業科目」を抽出表示できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 倉敷芸術科学大学 2022 年度シラバスを開く。  <a href="https://portal.kusa.ac.jp/Syllabus/Public/">https://portal.kusa.ac.jp/Syllabus/Public/</a></li> <li>② 【キーワードで探す】をクリックする。</li> <li>③ 【キーワード】欄に、「実務経験のある教員による授業科目」と入力する。</li> <li>④ 【検索】をクリックする。</li> <li>⑤ 実務経験のある教員等による授業科目が抽出表示される。</li> </ol>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	倉敷芸術科学大学
設置者名	学校法人加計学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページにて公表している。 情報公開>役員一覧 ( <a href="https://www.kake.ac.jp/information/officer.html">https://www.kake.ac.jp/information/officer.html</a> )
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社相談役	2020/6/1 ~ 2024/5/31	学園の広報活動を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
非常勤	株式会社代表取締役	2020/6/1 ~ 2024/5/31	学園の地域連携を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
非常勤	株式会社代表取締役	2020/6/1 ~ 2024/5/31	学園の財政改革を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
非常勤	株式会社代表取締役会 長	2020/6/1 ~ 2024/5/31	学園の産学連携を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	倉敷芸術科学大学
設置者名	学校法人加計学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

Webシラバスシステムを利用し、授業科目ごとに、「授業の概要」「到達目標」「授業外学習」「評価方法」「注意事項」「授業計画」「教科書」「参考書」の内容を公表している。

体系的な学習や振り返りを行うために、教育目標・方針や「カリキュラム・ツリー」「カリキュラムとディプロマ・ポリシーの関与を示す表」等をまとめた「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を作成し、公表している。「カリキュラムとディプロマ・ポリシーの関与を示す表」で授業の方法(講義、演習、実験・実習別)が確認できる。

【2022年度授業計画(シラバス)の作成過程】

2021年7月28日:シラバス作成に関するスケジュール、シラバス作成要領(より詳細な内容に変更など)の検討および公表方法について検討する。

(2021年度第4回学務委員会)

2021年10月27日:シラバス作成に関する変更点やシラバス作成スケジュールを再確認する。

(2021年度第6回学務委員会)

2021年12月24日:教員対象「シラバスに関するFD研修会」を開催する。(本学の現状および他大学のシラバスを学ぶ。)

2021年11月24日:「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」の作成について検討する。

(2021年度第7回学務委員会)

【2022年度授業計画(シラバス)の作成・公表時期】

2021年12月21日:担当教員へシラバスの作成およびWebシステムへの入力を依頼する。(1月12日入力締め切り)(当初から一部日程を変更)

2022年1月19日:学科長等や学務委員による「シラバスチェックに関する意見交換会」を開催する。(シラバスチェック実施要領を説明し、シラバスチェックに関する意見交換を行う。)

2022年1月19日~2月11日:学科長等を責任者として、シラバスチェックを実施する。

2022年3月26日:「2022年度シラバス」および「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」をHPにて公表する。

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>HPにて公表 シラバス (<a href="https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/">https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/</a>) 倉敷芸術科学大学で学ぶこと (<a href="https://www.kusa.ac.jp/student/kuragei_learn/">https://www.kusa.ac.jp/student/kuragei_learn/</a>)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに「シラバス」を作成し、「到達目標」および「評価方法」を明記し、成績評価の方法を定めている。 倉敷芸術科学大学学則第 36 条（学習の評価）に、成績評価の基準を定めている。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【GPA等の客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法など）】

1. 成績の評価は、科目ごとに次の評価基準によって行う。

#### 27 生以降

評点	評価	判定	GP 値
90 点～100 点	秀(S)	単位認定	3.5 点～4.5 点
80 点～89 点	優(A)	単位認定	2.5 点～3.4 点
70 点～79 点	良(B)	単位認定	1.5 点～2.4 点
60 点～69 点	可(C)	単位認定	0.5 点～1.4 点
0 点～59 点	不可(D)	単位不認定	0 点
未受験又は受験資格なし	(E)	単位不認定	0 点

#### 26 生以前

評点	評価	判定	GP 値
80 点～100 点	優(A)	単位認定	2.5 点～4.5 点
70 点～79 点	良(B)	単位認定	1.5 点～2.4 点
60 点～69 点	可(C)	単位認定	0.5 点～1.4 点
0 点～59 点	不可(D)	単位不認定	0 点
未受験又は受験資格なし	(E)	単位不認定	0 点

2. 当該年度における成績の概況を判断する指標として、前項に基づく GP 値の平均値 Grade Point Average (以下「GPA」という。)を用いる。

GPA 概評基準	
3.50 以上	きわめて良好
2.50 以上 3.50 未満	良好
1.50 以上 2.50 未満	普通
1.00 以上 1.50 未満	やや問題あり
1.00 未満	要相談

3. GPA は、次式によって算出する

(履修登録した授業科目の単位数×当該授業科目の GP) の総和) / 履修登録した授業科目の単位数の合計

※小数点以下第 3 位を四捨五入

※履修登録した授業科目の単位数の合計には、成績評価 D、E の単位数を含む

【客観的な指標の適切な実施状況】

学生、保護者に配布する成績表に GPA を表示し、履修指導に活用している。

「倉敷芸術科学大学修学指導について」に示すとおり、GPA を活用して、成績不振の学生に対する面談等を実施している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	HPにて公表 <a href="https://www.kusa.ac.jp/about-university/outline/graduation-approval/">https://www.kusa.ac.jp/about-university/outline/graduation-approval/</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定に関する方針の具体的な内容】  本学における卒業認定・学位授与の方針（以下、ディプロマ・ポリシーと呼ぶ）は以下のとおり定めている。</p> <p>倉敷芸術科学大学は、ミッションに掲げる人材の養成を目指したカリキュラムにおいて、所定の単位を取得し、次の条件を満たした学生に対して、卒業を認定し学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学部・学科で修得した専門的な知識や技能を生かして、専門領域で活躍できる職業人としての力量を有していること</li> <li>2. 自らが社会の一員であることを自覚し、幅広い教養と豊かな人間性を備えた、良き社会人として活躍できる力量を有していること</li> <li>3. 地域社会の構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍できる力量を有していること</li> <li>4. 科学的な思考ができる芸術エキスパート、またはデザインセンスを備えた科学エキスパートとして活躍できる力量を有していること</li> </ol> <p>学部学科ごとにもディプロマ・ポリシーを定めている。  学部学科のディプロマ・ポリシーを意識してシラバスを作成するようシラバス作成要領で示している。</p> <p>【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】  本学学則第 46 条および本学履修規程第 7 条に、履修すべき単位数と条件を明示している。本学学則第 46 条のとおり、修得すべき単位数を満たした者に対して、学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、学士の学位を授与すると明示している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPにて公表 <a href="https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/">https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/</a>

## 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	倉敷芸術科学大学
設置者名	学校法人加計学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ホームページにて公表している。 ( <a href="https://www.kake.ac.jp/information/finance.html">https://www.kake.ac.jp/information/finance.html</a> )
収支計算書又は損益計算書	学園ホームページにて公表している。 ( <a href="https://www.kake.ac.jp/information/finance.html">https://www.kake.ac.jp/information/finance.html</a> )
財産目録	学園ホームページにて公表している。 ( <a href="https://www.kake.ac.jp/information/finance.html">https://www.kake.ac.jp/information/finance.html</a> )
事業報告書	学園ホームページにて公表している。 ( <a href="https://www.kake.ac.jp/information/project.html">https://www.kake.ac.jp/information/project.html</a> )
監事による監査報告(書)	学園ホームページにて公表している。 ( <a href="https://www.kake.ac.jp/information/finance.html">https://www.kake.ac.jp/information/finance.html</a> )

### 2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:倉敷芸術科学大学 令和4年度 事業計画 対象年度:令和4年度)
公表方法:(HPにて公表) <a href="https://www.kake.ac.jp/information/project.html">https://www.kake.ac.jp/information/project.html</a>
中長期計画(名称:倉敷芸術科学大学ビジョン2031 対象年度:令和4~令和8年度)
公表方法:(HPにて公表) <a href="https://www.kake.ac.jp/up_load_files/freetext/information_bijyon/file/chukikeikaku2022-2026.pdf">https://www.kake.ac.jp/up_load_files/freetext/information_bijyon/file/chukikeikaku2022-2026.pdf</a>

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法:(HPにて公表) <a href="https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/outline/jikotenken-hokoku-2020.pdf">https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/outline/jikotenken-hokoku-2020.pdf</a>
--

#### (2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:(HPにて公表) 大学機関別認証評価 評価報告書(平成29年度) <a href="https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/outline/hyokahokoku.pdf">https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/outline/hyokahokoku.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 芸術学部・生命科学部・危機管理学部
教育研究上の目的（公表方法：HPにて公表） <a href="https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/">https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/</a>
（概要） 教育の理念 倉敷芸術科学大学では、芸術と科学に関する学術を深く教育研究し、創造性豊かな人材を育成して、社会の発展に寄与することを目標に、芸術学部、生命科学部、および危機管理学部の 3 つの学部を設置しています。学部ごとの人材の養成に関する目的および教育研究上の目的は次の通りです。  芸術学部 優れた創造性と深い専門領域の知識や技能を身につけながら人間性を培い、それぞれの感性と教養を通して各種の産業、行政、教育機関等の場で活躍できる人材を養成する。  生命科学部 生命科学は生命を取り巻く諸関連科学の総称であるが、生命に関する幅広い教養的知識を身につけ、生命科学の専門的知識・技能を生かして、社会のかかえている問題解決に貢献できる人材を養成する。  危機管理学部 危機管理の基礎知識と経営・経済活動に影響を及ぼす事象に関する専門知識を学び、さらに幅広い教養的知識を身に付け、将来、学生が活躍する企業、自治体、各種団体等における課題を発見し、主体的に様々な人々と連携し、その課題解決のために自ら行動できる人材を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：HPにて公表） <a href="https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/">https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/</a>
（概要） 倉敷芸術科学大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） 倉敷芸術科学大学は、ミッションに掲げる人材の養成を目指したカリキュラムにおいて、所定の単位を取得し、次の条件を満たした学生に対して、卒業を認定し学位を授与します。  1. 各学部・学科で修得した専門的な知識や技能を生かして、専門領域で活躍できる職業人としての力量を有していること 2. 自らが社会の一員であることを自覚し、幅広い教養と豊かな人間性を備えた、良き社会人として活躍できる力量を有していること 3. 地域社会の構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍できる力量を有していること 4. 科学的な思考ができる芸術エキスパート、またはデザインセンスを備えた科学エキスパートとして活躍できる力量を有していること  ※学部学科については PDF を HP へ掲載 <a href="https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/dipulo_policy.pdf">https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/dipulo_policy.pdf</a>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：HPにて公表）

<https://www.kusa.ac.jp/about-university/philosophy/>

（概要）

倉敷芸術科学大学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

倉敷芸術科学大学は、ミッションを追求し達成するために、「専攻科目」と「教養科目」の2つのカテゴリーに大分類される科目群の上に立ち、それぞれの人材養成を目指したカリキュラム（教育課程）を次の方針に基づいて構築します。

1. 各学部・学科の「専攻科目」では、基礎から応用への系統性と理論と実践の統合性に配慮した体系的な編成
2. 幅広い教養と豊かな人間性を育成するための「教養科目」では、大学での学びの基礎となる導入科目から始まり、文化と芸術、文化と社会、生活と科学、外国語、保健体育の各系列に沿った体系的な配置
3. 地域のまちづくりや文化活動を実践するための科目として、関連した学部・学科の専攻科目、地域連携・キャリア教育科目系列の配置
4. 芸術と科学を別々に探究するのではなく、両者を協調ないしは融合して新たな価値を創造するための科目として、教養科目「芸術と科学の協調」推奨科目群等の配置

※学部学科についてはPDFをHPへ公表

[https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/curriculum\\_policy.pdf](https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/curriculum_policy.pdf)

入学者の受入れに関する方針（公表方法：HPにて公表）

[https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/admission\\_policy.pdf](https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/admission_policy.pdf)

（概要）

倉敷芸術科学大学のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

倉敷芸術科学大学は、ミッションを追求し達成するために、目的意識と学習意欲の高い生徒・学生・社会人等に広く門戸を開放します。また、入学者選抜においては、学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえた多面的・総合的な評価を行います。特に次のことに興味や関心を持つ入学者を受け入れる方針とします。

1. 芸術、生命科学、危機管理のいずれかの分野の職業に就きたい人
2. 幅広い教養と豊かな人間性を備えた社会人として活躍したい人
3. 地域のまちづくりや文化活動に興味や関心があり、地域社会に貢献したい人
4. 芸術を究めるだけでなく科学も学びたい人、または科学を究めるだけでなく芸術も学びたい人

※学部学科についてはPDFをHPへ公表

[https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/admission\\_policy.pdf](https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/philosophy/admission_policy.pdf)

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：（HPにて公表）

<https://www.kusa.ac.jp/wp-content/uploads/about-university/outline/organizationchart.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
芸術学部	—	10人	5人	2人	0人	0人	17人
生命科学部	—	16人	16人	4人	2人	0人	38人
危機管理学部	—	6人	4人	0人	1人	0人	11人
その他	—	0人	2人	3人	0人	0人	5人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		172人					175人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：(HPにて公表) <a href="https://redb.kusa.ac.jp/">https://redb.kusa.ac.jp/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では教育開発センターにてFDに関する計画・実施・検証を行っており、毎年度、全学FD、各学部FD、大学院FD、授業評価アンケート、授業公開を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
芸術学部	100人	124人	124.0%	414人	410人	99.0%	2人	3人
生命科学部	190人	210人	110.5%	864人	795人	92.0%	2人	0人
危機管理学部	60人	40人	66.7%	300人	215人	71.7%	-人	-人
合計	350人	374人	106.9%	1,578人	1,420人	90.0%	4人	3人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
芸術学部	69人 (100%)	5人 (7.2%)	32人 (46.4%)	32人 (46.4%)
生命科学部	135人 (100%)	0人 (0%)	106人 (78.5%)	29人 (21.5%)
危機管理学部	36人 (100%)	4人 (11.1%)	26人 (72.2%)	6人 (16.7%)
合計	240人 (100%)	9人 (3.8%)	164人 (68.3%)	67人 (27.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(株)ハローズ、竹久夢二本舗敷島堂(株)、(株)ティ・シー・シー、岡山市役所、生活協同組合おかやまコープ、(株)仁科百貨店、(株)ハヤシ、総合警備保障(株)、航空自衛隊、(株)両備エネシス、日本郵便(株)、(株)タイム、三生医薬(株)、島根県警察、大東建託パートナーズ(株)、(株)日本ハウスホールディングス、(株)アミーゴ、(株)日本ハウスホールディングス、イオンペット(株)、(株)日本バイオリサーチセンター、(株)なかやま牧場、倉敷市消防局、広島市消防局、高知市消防局、岡山大学病院、東京消防庁、横浜市消防局、岡山赤十字病院、倉敷成人病センター、(株)福山臨床検査センター、富山赤十字病院、香川大学医学部附属病院、萩市民病院、岡山ろうさい病院、島根大学医学部附属病院、宇和島市民病院 他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
芸術学部	92人 (100%)	64人 (70%)	6人 (6%)	22人 (24%)	0人 (0%)
生命科学部	163人 (100%)	124人 (76%)	14人 (9%)	25人 (15%)	0人 (0%)
危機管理学部	39人 (100%)	31人 (79%)	3人 (8%)	5人 (13%)	0人 (0%)
合計	294人 (100%)	219人 (74%)	23人 (8%)	52人 (18%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>Webシラバスシステムを利用し、授業科目ごとに、「授業の概要」「到達目標」「授業外学習」「評価方法」「注意事項」「授業計画」「教科書」「参考書」の内容を公表している。</p> <p>体系的な学習や振り返りを行うために、教育目標・方針や「カリキュラム・ツリー」「カリキュラムとディプロマ・ポリシーの関与を示す表」等をまとめた「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を作成し、公表している。「カリキュラムとディプロマ・ポリシーの関与を示す表」で授業の方法（講義、演習、実験・実習別）が確認できる。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p><b>【学修の成果に係る評価】</b>          本学学則第 36 条および本学履修規程第 5 条に、成績評価の基準、GPA 基準（成績の概況を判断する指標）とその算出方法を明示している。</p> <p><b>【卒業の認定】</b>          本学学則第 46 条および本学履修規程第 7 条に、修得すべき単位数と条件を明示している。本学学則第 46 条のとおり、修得すべき単位数を満たした者に対して、学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、学士の学位を授与すると明示している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術学部	メディア映像学科	124 単位	有・無	44 単位
	デザイン芸術学科	124 単位	有・無	44 単位
生命科学部	生命科学科	124 単位	有・無	48 単位
	健康科学科	124 単位	有・無	48 単位
	動物生命科学科	124 単位	有・無	48 単位
	生命医科学科	124 単位	有・無	48 単位
危機管理学部	危機管理学科	124 単位	有・無	48 単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：公表していない		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： (資格取得状況) <a href="https://www.kusa.ac.jp/about-university/licentiate/">https://www.kusa.ac.jp/about-university/licentiate/</a> (授業評価アンケート結果) <a href="https://www.kusa.ac.jp/student/registrar/#questionnaire">https://www.kusa.ac.jp/student/registrar/#questionnaire</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：HPにて公表（大学の概要→C. 教育研究上の基礎的な情報→4. 学生の教育研究環境）</p> <p><a href="https://www.kusa.ac.jp/about-university/outline/">https://www.kusa.ac.jp/about-university/outline/</a></p>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
芸術学部	デザイン 芸術学科	865,000 円	220,000 円	735,000 円	実験・実習費 235,000 円 施設設備費 500,000 円
	メディア 映像学科				
生命科学 部	生命科学 科	845,000 円	220,000 円	695,000 円	実験・実習費 225,000 円 施設設備費 470,000 円
	健康科学 科			585,000 円	実験・実習費 160,000 円 施設設備費 425,000 円
	動物生命 科学科			(1 年次) 470,000 円 (2 年次以降) 720,000 円	実験・実習費 (2 年次より徴収) 250,000 円 施設設備費 470,000 円
	生命医科 科学科			720,000 円	実験・実習費 250,000 円 施設設備費 470,000 円
危機管理 学部	危機管理 学科	845,000 円	220,000 円	(1 年次) 165,000 円 (2 年次以降) 245,000 円	実験・実習費 100,000 円 施設設備費 (1 年次) 65,000 円 (2 年次以降) 145,000 円
学部共通				60,000 円 120,000 円	休学中の在籍料 休学期間 3～6 ヶ月 休学期間 7～12 ヶ月

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では、修学に係る支援に関する取り組みとして資格取得サポート、インターンシップの推進、大学の教育力向上活動（FD活動）の推進、授業評価アンケートなどを実施している。また、高校での未履修科目や理解の充実を図るための基礎科目を用意するとともに窓口で専門の教員の紹介なども実施している。</p> <p>障がい学生支援について</p> <p>本学に在籍する障がいのある学生が、障がいのない学生と等しい条件のもとで学生生活を送ることができるよう、授業保障、情報保障を中心に「倉敷芸術科学大学障がい学生支援規程」に基づき修学支援を行っている。</p> <p>公表方法：HPにて公表 (<a href="https://www.kusa.ac.jp/org/health-control/disability-support/">https://www.kusa.ac.jp/org/health-control/disability-support/</a>)</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 個別相談・個別面接練習、就職ガイダンスの開催、学内会社説明会開催、インターンシップ紹介、キャリア支援課 Web サイト、エントリーシート・履歴書添削、大学オリジナル履歴書（無料配布）等</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の心身の健康管理と健康増進をはかるために、各種取組を行っている。</p> <p>公表方法：HPにて公表 (<a href="https://www.kusa.ac.jp/org/health-control/">https://www.kusa.ac.jp/org/health-control/</a>)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健康支援センターの利用案内</li><li>・学生定期健康診断</li><li>・救急対応が必要な場合</li><li>・学校感染症</li></ul>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：HPにて公表 <https://redb.kusa.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F133310109625
学校名	倉敷芸術科学大学
設置者名	学校法人 加計学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		150人	142人	-
内 訳	第Ⅰ区分	80人	81人	
	第Ⅱ区分	48人	41人	
	第Ⅲ区分	22人	20人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				154人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	-		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	12人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	12人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。